

優しさの練習

優しさの練習ってどのようなものだと思いますか。人に優しくするのはその人の心の問題だから、訓練や練習ではないと思いますよね。優しさにまつわるこんな話があります。

運転が上手なはずのタクシー運転手が道を間違えたり遅くなったりしたら、人はイライラしたり腹を立てて怒ったりしてしまいます。でも、「くまモン」を開発した小山薫堂さんは「しめた！優しさの練習ができる！」と思うそうです。

人は失敗したり間違ったりしたら、どうしよう、どうしようと不安な気持ちになります。そんなとき、面白い話をしたり、大丈夫だよと励ましたりする。すると、その運転手さんもホッとしたり、安心したりと幸せな気持ちになる。運転手さんが幸せな気持ちなら、次に乗る人にも温かい言葉をかけて優しさをあげられる。このように、どんどん優しさをつなげられると思うのだとか。すごいことだと思いますか。

「腹が立ったときほど、人に優しく。」

なかなかできないけれど、優しさの練習だと自分に言い聞かせる。そうしているうちに、最初はいやいやだったり、無理矢理だったりした優しい行動が、そのうち当たり前になる。優しくするのが自然にできる自分になってしまうというのです。

二学期は長く、いろいろな行事があり、ともすれば人といがみ合ったりしてしまいがちです。でも、そんなときこそ、少しでも自分の気持ちを抑えて、優しさの練習をしてくれることを期待しています。子ども達に優しさを考えさせたいものです。

認知症サポーター養成講座開催

9月14日（水）5年生を対象に市の地域福祉課の職員さんに講師になっていただき認知症サポーター養成講座を行いました。認知症に対する正しい知識と理解を身につけ、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者の育成を目的としています。絵本を使って本当にわかりやすく教えていただきました。子ども達には講座修了の証として、オレンジリングを頂いています。講師になって頂いた方々ありがとうございました。



租税教室1億円は重かった！



9月16日（金）6年社会科の学習として、租税教室を行いました。外部からお二人講師に来ていただき、自分たちの生活と税が密接に関わっていることや税の必要性について教わりました。税の種類や自分たちの生活と税金の関わりを理解し、もし税金がなかったらどうなるか考えるためのDVDの視聴などわかりやすく教えていただきました。途中で税金にまつわるクイズを入れたり、子ども達は興味を持って授業に臨んでいました。最後には、1億円の量と重さを体験し、お金の大切さを実感できたと思います。お二人の講師の方々ありがとうございました。

コミュニティースクールボランティア活動 ご協力ありがとうございます。

今年度も7月にコミュニティースクールボランティア募集の案内を出したところ、たくさんの活動にご賛同いただける方々の登録をいただきました。校舎内の消毒活動は、毎週金曜日の放課後活動していただいていますし、9月後半からは家庭科のミシンの指導補助にも参加していただいています。中央小学校運営協議会は学校・保護者・地域が一体となった子育てを目標に日々取り組んでいます。参加いただいている方々本当にありがとうございます。



10月の行事予定

3日（月）衣替え移行期間 食育（5年）	スクールカウンセリング	17日（月）	スクールカウンセリング
5日（水）補充学習		19日（水）	委員会
7日（金）消防署見学（3年）		21日（金）	修学旅行（～22日） 手話教室（5年）
12日（水）県学習到達度調査	クラブ	24日（月）	6年生代休
13日（木）森林体験（5年）		25日（火）	サツマイモ掘り（1年）
14日（金）社会見学（1年～4年）		28日（金）	町探検（2年）